

平成30年度公募型事業の選定プロセスに関する調査(調査票)

本調査では、文部科学省が選定プロセスに直接関与する全ての公募型事業について、審査結果に文科省職員を含めた特定の者の恣意的な意向が反映されない制度や運用となっているかについて確認します。

< 基本情報 >

事業名		予算科目(項)	目)
担当課室		担当課長	
担当者		内線番号	委託等 補助
公募時期		採択決定時期	
調達種別(委託等の場合)		総合評価落札方式	企画競争(随意契約)
補助金等の分類(補助金の場合)		法律補助	予算補助

< 企画競争性 >

- 価格のみによって採択対象を決定している。
- 対象者を機械的に全て採択している。(例えば、申請者の数に関係なく一定の要件・資格を有しさえしていれば必ず交付が受けられる補助金等)

いずれにも該当しない場合、以下の選定プロセス毎の項目に回答してください。

< 選定プロセス >

自らが担当する事業の選定プロセスに係る制度や運用について、透明性や公平性・公正性を確認するための取組を確認の上、各項目について透明性や公平性・公正性が、

- ・十分確保されている場合：
- ・概ね十分確保されているが、さらなる透明性や公平性・公正性を高めるための取組を実施・検討する場合：
- ・不十分であり、見直しを行う必要がある場合：×

を()に記入した上で、取組例を参考に、取組の現状と改善に向けた取組の内容について網羅的に記載してください。

委託事業については、会計課で作成しているマニュアルどおり実施している場合でも、具体的に取組を記載してください。

公募開始 ()特定の者のみを利するような情報提供の仕方になってない。 —

(取組例)

- ・ホームページへの掲載など誰でも入手出来る形で情報提供している。
- ・審査基準を事前に公表している。
- ・接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなっている。また、そのことを公募要領等に記載している。
- ・特定の者からの質問について他の応募予定者にも共有している。

[取組の現状]

【改善に向けた取組の内容】
(平成30年度)

(平成31年度)

公募締切 ()特定の者のみを利するような対応をしていない。 —

(取組例)

- ・問合せや接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなっている。また、そのことを公募要領等に記載している。
- ・締切後に申請書類の受付や修正をする余地を残さないようにしている。また、そのことを公募要領等に記載している。
- ・予定価格等の機密情報を適切に管理している。

【取組の現状】

【改善に向けた取組の内容】
(平成30年度)

(平成31年度)

審査関係 審査委員会を設置していない場合は、設問 へ(~ の回答は不要です。) —

()利害関係者や利益相反者等の範囲を明確にしている。

(取組例)

- ・利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有している。また、そのことを公募要領等に記載している。
- ・親密な個人的関係や密接な師弟関係にある者まで排除している。また、そのことを公募要領等に記載している。
- ・公募要領等に例示した以外にも利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求めている。

【取組の現状】

【改善に向けた取組の内容】
(平成30年度)

(平成31年度)

() 審査から利害関係者や利益相反者等を排除している。 —

(取組例)

- ・所属している機関等を申請した案件の審査から除外している。

【取組の現状】

【改善に向けた取組の内容】

(平成30年度)

(平成31年度)

() 公平性・公正性が担保されるよう審査委員会の実施方法に配慮している。 —

(取組例)

- ・審査委員に一定の人数(人以上)を確保している。
- ・対面で審査委員会を実施している。
- ・他の審査委員の意見を共有している。
- ・総合点だけでなく、評価項目ごとに評点を付すように求めている。
- ・審査委員に対して評点だけでなく、コメントの記載を求めている。
- ・評点の集計結果は複数人でチェックしている。
- ・審査委員に対して秘密保持を担保している。また、そのことを審査要領等に記載している。
- ・外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起している。また、そのことを審査要領等に記載している。

【取組の現状】

【改善に向けた取組の内容】

(平成30年度)

(平成31年度)

() 公平性・公正性が担保されるよう審査委員の公表について配慮している。 —

(取組例)

- ・応募者が接触出来ないよう、公表時期に配慮している。
- ・審査委員に関する情報管理が適切に行われている。

【取組の現状】

【改善に向けた取組の内容】
(平成30年度)

(平成31年度)

対象決定

() 審査委員又は審査委員会による審査結果を恣意的に変更していない。 —

(取組例)

- ・審査委員会が対象の採否を決定している場合には、事実上審査委員会の決定通りに決定している。
- ・審査委員会の議事録(議事要旨)を作成するなど、選定の経緯が分かるようにしている。
- ・採択理由や不採択理由を採択結果とともに通知している。
- ・審査委員の評価やコメントなどを通知している。
- ・採択結果や理由を公表している。
- ・採択に至るまでのプロセスについて情報提供を行っている。

【取組の現状】

【改善に向けた取組の内容】
(平成30年度)

(平成31年度)

【審査委員会を設置していない場合のみ回答ください。】

() 特定の職員が恣意的に採択者を選定していない。 —

(取組例)

- ・客観的かつ明確な審査基準を予め設けている。
- ・決裁等において審査基準に基づく評価の変更は行わない仕組みの構築をしている。
- ・決裁等において厳格に審査基準等が適用されているかを複数名で確認している。

【取組の現状】

【改善に向けた取組の内容】
(平成30年度)

(平成31年度)

1. 事業の概要

事業番号：○○○ 事業名：○○○○○○○事業

既存の事業概要が分かるポンチ絵があれば、それを添付し、本欄は空欄とすること

併せて公募要領及び委託（補助）要綱に加え、審査委員名簿、審査基準（要領）、利益相反者の基準、審査委員毎の採点表（総合評価落札方式により採択を終えた事業のみ）を提出ください。

【補助事業で審査員名簿等該当するものがない場合は提出不要です。】

2. 選定プロセスの概要

下記の例を参考に作成をお願いします。

